



Specialized Field Seminar 始まる！

本校は佐賀県内で唯一、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されています。そのカリキュラムの一環として理数科の2年生は、年間を通して週に3時間、実験や調査を伴う青鵲課題研究に取り組んでいます。青鵲課題研究の研究分野は、志望する学部・学科（「数学・情報」「物理」「化学」「機械」「電気・電子」「都市工学」「農学」「医学・看護学」の8分野）の学びに合わせて設定しています。この取組の一つとして実施している「Specialized Field Seminar」は、学びを深め、課題研究を充実させることを目的として、各学部の大学の先生、学生や大学院生のみなさんに来校いただき、研究室での様子や自分の卒業研究等について語っていただくものです。今年度は、まず5月22日に「都市工学」分野と「数学・情報」分野について実施しました。「都市工学」分野では佐賀大学の猪八重先生から GIS（地理情報システム）をはじめとする最先端の土木工学についてお話を伺い、「数学・情報」分野では同じく佐賀大学の松前先生から、情報分野に関わる最先端の研究例を分かりやすく解説していただき、研究テーマのヒントなどいただくことができました。生徒たちは自分が志望する学部・学科に特化した内容ということもあり、真剣に話を聞き、積極的に様々な質問をして、今後の活動に活かそうとしていました。今後開催予定の他分野の「Specialized Field Seminar」についても、この通信でお知らせしたいと思います。



数学・情報分野(松前進先生)



都市工学分野(猪八重拓郎先生)

7月11日の発表会に向けて「理数科3年青鵲AP」

理数科3年生では、2年次の活動で執筆した研究レポートの英語翻訳や英語でのプレゼンテーション作成に取り組んでいます。5月23日に佐賀大学より24名の留学生と先生2名をお迎えしより実践的な英語に翻訳するためにご指導をいただきました。これまで培った英語力をフル稼働させての challenge です。



留学生のみなさんへ事前のガイダンス